

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network 10 / 1

2019 No.526

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 第13回 日本診療放射線技師会・ 日本放射線技術学会 合同公開市民講座 開催される

2019年8月24日(土)、岡山県の岡山国際交流センターで日本診療放射線技師会(JART)と日本放射線技術学会(JSRT)による合同公開市民講座が開催された。一般市民を含め約70人の参加者があった。

今回は、日本放射線技術学会が中心となって企画を行い、テーマを「心臓を健康に! ~動き続ける心臓と向き合うために~」と題し、「病気は、不安ばかり先走り! いろいろなことを知ることで不安も解消! 循環器の専門医と診療放射線技師・管理栄養士が得する情報をお話します」として、高血圧に関する知識の啓発とともに、心臓疾患の診療に診療放射線技師がどのように関わり、どんな役割を果たしているのか、講演を通じて一般市民に理解してもらうことを目的とした。



公開講座の前半では2人の診療放射線技師が講演した。大阪市立大学医学部附属病院 市田隆雄氏による「心臓カテーテル、CTの技術ってどんなこと? 被ばくは怖くないの?? —安心して検査・治療を受けていただくために—」と題し、心臓の疾患にはどのような検査があり、診療放射線技師がどこに、どのように関わっているのか、さらに放射線被ばくについて一般市民に分かりやすく説明した。またチーム医療について「放射線診療では患者さんの協力がとても重要であり、患者さんが主役だ」と述べた。



続いて、桜橋渡辺病院 川村克年氏による「知っていますか? 心臓検査と放射線の関係について」では、狭心症と心臓弁膜症を取り上げ、CT検査を中心に、診療放射線技師がどんな画像を作成しているのか、さらにFFR-CTやプラークの評価、心臓超音波やTAVIについて一般市



民に分かりやすく説明した。そして「診療放射線技師は、分かりやすく正確な画像を提供することを心掛けている」と述べた。



後半は、岡山大学病院 臨床栄養部 管理栄養士 長谷川祐子先生による「上手に減塩して暑い夏を乗り切ろう!」と題した講演を頂いた。心臓に優しい食事、適正な体重を維持する食事、また高血圧の予防には減塩が必要であり、おいしく減塩する方法について説明された。「食とは人を良くすると書く。食べることを大切に薄味に慣れましょう」と述べた。多くの参加者が日ごろの食生活を反省したのではないだろうか。



特別講演は、「高血圧の話 —健康寿命をのぼそう—」と題し、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院リバーサイド 院長 土井修先生にご講演いただいた。1時間の講演時間の中で、1時間目「血圧の基礎知識」、2時間目「高血圧の定義」、3時間目「高血圧がなぜ

悪いか」、4時間目「高血圧の疫学」、そして5時間目の「高血圧の治療」まで、5時間分の授業があった。その中で、血圧の公式は「 $\text{血圧} \propto \text{心拍出量} \times \text{末梢血管抵抗}$ 」であること、高血圧はサイレントキラーであり、動脈硬化を促進し、脳心血管障害につながることを、降圧目標として130/80mmHgを限りなく目指すこと、そして家庭血圧が重要であると説明され、「健康寿命増進をみんなで頑張りましょう」という言葉で締めくくった。

講演後の質問コーナーでは会場から多くの質問があり、その中で、診療放射線技師の放射線被ばく管理における役割についての質問に対し、中澤会長は2020年4月の医療法改正に伴う医療放射線の管理強化について話され、設置が義務付けられる医療放射線安全管理責任者を診療放射線技師が担ってほしいと述べた。さらに特別講演講師の土井先生は、診療

放射線技師は放射線被ばく管理に、現時点でも大きな役割を担っていることを説明された。CT解析画像作成に要する時間についての質問の中では、診療放射線技師の専門性が高くなっている話とともに、診断や治療に診療放射線技師の役割が非常に重要であると説明された。



自身の健康維持について見直す絶好の機会となり、一般市民の方々には、心臓疾患の診療における診療放射線技師の役割を理解していただけたに違いない。

## 第28回 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会 開催される

2019年7月27日(土)、岡山県倉敷市の倉敷中央病院付属予防医療プラザで「第28回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会」が開催された。この講習会は、日本核医学会・日本核医学技術学会・日本病院薬剤師会と本会が共同で年に3回開催している。今回、本会が主催で91人が受講し、職種の内訳は診療放射線技師が72人、薬剤師が18人、医師が1人であった。放射性医薬品を取り扱う医師・薬剤師・診療放射線技師は、互いの役割を理解しながら協働する必要があるため、放射性医薬品を適切に取り扱うために、この講習会を受講することが望まれている。また受講したことがある方も、5年ごとに受講することがガイドラインに示されているので注意していただきたい。次回は、2019年11月4日(月・振休)に愛媛県松山市の松山市総合コミュニティセンターにおいて、日本核医学技術学会主催で開催予定である。



## 本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ❶ 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から「新規入会はこちらから」をクリック
- ❷ 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : [info@jart.or.jp](mailto:info@jart.or.jp)

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

## 2019年度 第1回 認定資格試験 実施される

2019年8月25日(日)、首都大学東京荒川キャンパスおよびAP大阪梅田茶屋町において、2019年度第1回認定資格試験が実施された。今回の認定資格試験で、放射線機器管理士は39回目、放射線管理士は37回目、医療画像情報精度管理士は16回目、臨床実習指導教員は26回目、放射線被ばく相談員は10回目の試験となり、5つの認定資格で計598人の会員および非会員が受験した。また国際認定試験として超音波検査も実施され、2人が英語による試験を受験した。合

格者は、10月11日(金)午後3時に本会ホームページ上で掲示を予定している。なお、2019年度第2回認定資格試験は2020年1月26日(日)に実施される。

今回、認定試験の直前に、本会のe-ラーニングシステムが、サーバー提供会社のサーバーに障害が生じたことにより、30時間ほど受講ができない状況が発生したことを深くおわび申し上げます。

## 2019年度 第2回 放射線治療分科会生涯教育セミナー 開催される

2019年8月24日(土)、宮崎大学医学部附属病院105教室(宮崎県宮崎市)で2019年度第2回放射線治療分科会生涯教育セミナーが開催された。本年度は「乳癌術後放射線療法～病態把握(診察)から放射線治療の実際～」をテーマに三県(滋賀・宮崎・新潟)で開催予定であり、今回は宮崎での開催となった。参加者は九州からはもとより、関西や関東からの参加もあり、目標の50人を大幅に上回る68人の方々にご参加いただき、大変盛況なセミナーとなった。

講義内容は、久留米大学病院放射線腫瘍センター 淡河恵津世先生に乳癌術後放射線療法の現状と展望について、温存療法やPMRTの話を中心にご講演いただいた。またオンコプラスチックサージャリーや粒子線治療の最新情報の内容もあり、大変勉強になった。続いて放射線治療分科会の純真学園大学 久家氏から、シミュレーションやセットアップ、多根総合病院 川守田氏から治療計画についての講演が行わ



れた。特に、治療計画の講義では治療計画装置を会場に設置し、リアルタイムにプランを立てながらの説明を行った。翌日からの治療計画実践に非常に役に立つ内容であった。最後に、広島平和クリニック 小野氏より、参加者から事前に回答していただいたアンケートをまとめ、われわれの日常業務に関するテーマについて、3～5人でグループを作りディスカッションを行った。テーマは事前のアンケートで質問が多かった①羞恥心対策②セットアップ方法③鎖骨上窩への照射方法——の3つであった。参加者からさまざまな意見があり積極的で活発な議論がなされ、前回の滋賀開催時より30分追加したにもかかわらず時間が足りなかった。今回のディスカッションにより、各施設の問題点について共有認識を持つことができたと考える。今回の結果を基に、さらに有意義なセミナーを提供できるように努めたい。

最後に、関係各位のご協力によって成功裏に終えることができた。この場を借りて、感謝の意を表したいと思います。

(放射線治療分科会委員 純真学園大学 久家幸幸)



## 診療放射線技師基礎講習 医療基礎コース 「救急医療学」実習 開催される

2019年8月18日(日)、秋田大学医学部附属病院で標記セミナーが開催された。日本救急医学会ICLS認定インストラクターの資格を有する講師の指導によって、胸骨圧迫・気道確保/換気・AEDの実習を行った。

業務拡大に伴う統一講習会でも一次救命処置の項目が含まれているが、本講習会ではそれに加え、呼吸管理実技・一次救命、救急医療の歴史の他、現状の問題点を学ぶことができ非常に有意義な講習会であった。



アンケートでは、受講者の全員が過去に何らかの心肺蘇生講習会に参加したことがあるとの回答であったが、受講満足度は約90%と高く、「普段習うBLSより詳細に学ぶことができました。何げなく流しがちな部分もワンポイントを頂いたり、細かい部分までコツを教えてくださいました」「大事なことが印象に残るような指導をしてくださいました」などのコメントもあり、質の高い講習会であった。スキルは時間とともに低下してしまうため、定期的な受講を検討いただきたい。

## 診療放射線技師基礎講習 医療基礎コース 「看護学」実習 開催される

2019年8月17日(土)、東北地域で初となる医療基礎コース「看護学」実習が秋田市で開催された。申し込み開始から3日もたたないうちに募集定員(24人)に達し、注目度の高さがうかがえた。

前日の台風の影響にもかかわらず他県からも多数の参加者があり、午前9時過ぎよりセミナーが始まった。初めに、看護学の座学を行い、続いて秋田大学医学部附属病院 看護師



講師を迎えて実技実習(感染予防・身体支持、身体の移動)を行った。会場には、消毒セット・患者ベット・ストレッチャー・車いすなどが準備され、講師の指導の下で、参加者がお互いに患者役と技師役を担って実習が進行した。日常業務の中で行われていることであるが、専門家の指導は改めて勉強になり大変有意義であった。

(秋田県診療放射線技師会 川又 渉)

## 2019年度 第1回 骨関節撮影分科会セミナー 開催される

2019年8月11日(日・祝)、東京医科大学病院で2019年度第1回骨関節撮影分科会セミナーが開催された。セミナーには全国から約90人に参加いただき、関心の高さがうかがえた。

講義は、グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン 筑後孝夫氏より「ロジカルシンキングを用いた腰痛に対する漏れのない検査手順の構築」について。次に、私から「手関節の基本撮影法」について。続いて、昭和大学病院 菊原喜高氏より「成人脊椎変形に対する撮影のポイントとX線画像計測」について。午前中最後の講演には、とうかい整形外科かわげ難波一能氏より「肩関節と肩上方懸垂複合体の撮影技術と読影」の講義があった。そして午前の部の最後は、三菱神戸病院 高井夏樹氏より「手根骨に着目した手関節側面撮影のポイントと新たな舟状骨撮影法について」の講義があった。



午後の部は、公立福生病院 市川重司氏より再撮影の境界について、自施設で実施されている再撮影基準について臨床画像を交えながら紹介していただいた。最後に、東京医科大学病院 吉田和則氏より正常像と異常像の境界について、マルチモダリティーな視点で良悪性を鑑別する読影のポイントについて講義を行った。

どの講義も意欲的な姿勢で受講される様子が見え、質疑の時間も活発な意見交換が行われていた。第2回骨関節撮影分科会セミナーは熊本県で予定されている。モダリティーにかかわらず、若い方から部門を任されている責任者の方まで、多くの方々に参加していただきたい。

(骨関節撮影分科会 鈴木義曜)

### JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

### 65歳以上の方の会費が8,000円になります!

第79回定時総会において「会費等納入規程」の改正があり、2019年度中に65歳を迎える会員、および65歳以上の会員の方の年会費が8,000円となります。次年度の会費請求から実施することになりましたので、お知らせ致します。

これに伴い、会費の終身免除(会費等納入規程第8条)は、5年間の猶予をもって2023年3月末日で終了致します。

なお、50年勤続表彰受賞者で35年以上継続している会員の方の年会費終身免除は、これまで通りです。

#### ※会費の終身免除

第8条 25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり55歳以上の会員は、100,000円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

INFORMATION

# 第6回 FRT九州研修会 報告記

FRT九州 代表 中島 佳子

2019年7月27日(土)、「チャレンジ！そして明日へ！一歩進んだ自分になるために」をテーマに第6回FRT九州研修会を開催致しました。本年度は宮崎県で開催し67人(会員59人、非会員2人、講師5人、一般1人)の方々にご参加いただきました。大会長は宮崎県の稲倉里衣子氏に務めていただきました。

特別講演では、公益社団法人日本診療放射線技師会中澤靖夫会長にお越しいただき「日本診療放射線技師会の課題とFRTに期待すること」と題してご講演を頂きました。診療放射線技師の活用、診療放射線技師法の抜本的改正(案)、医療放射線の適正管理に関する検討会、FRTに期待することに関して熱い講演を頂きました。講演を拝聴し、今後、私たちが診療放射線技師として何を考え、どのように動いていくべきかが明確に見え、モチベーションも上がりました。

基調講演では「技師として、できること。聴覚障害者の方との出会いから」というテーマで、お二方にご講演いただきました。初めに「技師と聴覚障害～自身の資格について考えたことありますか?」と題し、宮崎県放射線技師会 限上典子氏よりご講演いただきました。診療放射線技師法の歴史を含め、聴覚障害者について、そして対応の仕方について説明されました。知識・技術能力に加え、態度能力(人間関係処理能力)が大事であり、私たちが診療放射線技師としてプロ意識を持ち受診者に接することが、結果として医療従事者に求められる行動につながるのだと痛感しました。次に「ろう者と医療現場の現在～チャレンジ！手話を覚えてみましょう～」と題して、社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会 溝ノ口



光輝先生にご講演いただきました。溝ノ口先生は、幼い頃にろう者となり、聴覚障害に加え、言語障害もあることを手話で話され、手話通訳者の方2人が交代で、リアルタイムに音声として私たちに伝えてくれました。医療現場で聴覚障害者が困っていること、医療関係者に望んでいること、そして放射線部門での聴覚障害者とのコミュニケーション手段について教えていただきました。最後は、実際に医療現場で使う手話を教えていただきましたので、今後、聴覚障害者の方と接する際には、手話を用いてコミュニケーションを取りたいと思います。

最後に、教育講演として「エコーにチャレンジ！自身のスキルアップにチャレンジ！」のテーマでお二方にご講演いただきました。初めに「表在エコー検査でみえてくること」と題して、株式会社ル・ベーシック 総括谷口恵美氏にご講演いただきました。解剖学を他のモダリティで把握している診療放射線技師にとっては、表在エコーは取り掛かりやすい検査であり、ぜひチャレンジしてほしいとのことでした。妊娠中の甲状腺の病気についても詳しく教えていただき、とても興味深い内容でした。次に「腹部エコーのLIVEデモを通して～新しい分野へのFirst step～」と題して、宮崎大学医学部附属病院 放射線部技師長 小味昌憲氏にご講演いただきました。腹部超音波に関する基礎的内容の講演後、実際に目の前でLIVEデモが行われ、腹部超音波検査への興味が増しました。実際に2人の未経験者によるチャレンジもあり、とても得るものが多い講演でした。

第6回FRT九州研修会は、とても学びの多い、モチベーションの上がる研修会であったと思います。

研修会後の情報交換会においても39人のご参加を頂き、大変盛り上がりました。

本研修会開催に当たり、ご尽力いただきました九州地域放射線技師会、宮崎県放射線技師会の皆さま、講師の皆さま、そしてご参加いただきました全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。



## 2019年度レントゲン週間イベント(市民向けイベント)の紹介

INFORMATION

本年度の国会共催／後援のレントゲン週間イベント(市民向けイベント)が以下の通り開催されます(すでに終了したイベントも含む)。詳細は、各県(診療)放射線技師会にお尋ねください。

地域	都道府県名	日程	イベント名	会場	主催
	岩手県	11月10日(日)	公開講演会	アイーナ いわて県民情報交流センター	岩手県診療放射線技師会
	秋田県	11月9日(土)	医療放射線画像展2019	JR秋田駅ぼぼろーど、ルミエール秋田	秋田県診療放射線技師会
東北	宮城県①	10月19日(土)～ 20日(日)	大崎市健康と福祉のつどい	古川保健福祉プラザ	大崎市
	宮城県②	10月20日(日)	角田市保健福祉まつり	角田市総合保健福祉センター	角田市
	福島県	11月10日(日)	福島県診療放射線技師学会大会 一般公開講演	星総合病院メグレスホール	福島県診療放射線技師会
北関東	茨城県	8月31日(土)	茨城県がん検診推進強化月間パネル展+放射線展+ピンクリボン運動	ファッションクルーズニューポートひたちなかメインホール	茨城県診療放射線技師会
南関東	神奈川県	10月13日(日)	第44回中区民祭り「ハローよこはま2019」	横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク	ハローよこはま実行委員会
	山梨県	11月3日(日・祝)	レントゲン週間「放射線フェスタ」	イオンモール甲府昭和3階イオンホール	山梨県診療放射線技師会
	愛知県	9月1日(日)	第35回市民健康まつり	一宮スポーツ文化センター	一宮市、一宮市健康づくり推進協議会
	三重県	11月10日(日)	レントゲン週間企画「CT画像からの3D作成体験」	鈴鹿医療科学大学	三重県診療放射線技師会
中日本	福井県	11月10日(日)	健康フェア2019	福井市健康管理センター	福井市健康づくり推進協議会、福井市健康管理センター
	静岡県①	9月28日(土)～ 29日(日)	メディメッセージ2019	ツインメッセ静岡	メディメッセージ2019実行委員会
	静岡県②	10月19日(土)	伊豆の国市 市民ふれあい広場	葦山福祉・保健センター	伊豆の国市、伊豆の国市社会福祉協議会
近畿	和歌山県	11月2日(土)	2019年度レントゲン週間に伴う「放射線パネル展」	スーパーセンターオークワ パームシティ和歌山店	和歌山県放射線技師会
	岡山県	10月14日(月・祝)	ピンクリボン岡山2019	イオンモール岡山	岡山県診療放射線技師会
	香川県	10月20日(日)	医療放射線展in徳島文理大学 第34回杏樹祭	徳島文理大学香川キャンパス 学生サポートセンター2階	徳島文理大学香川キャンパス内 杏樹祭実行委員会
	高知県	10月26日(土)～ 27日(日)	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019高知	高知大学医学部グラウンド	公益財団法人 日本対がん協会、リレー・フォー・ライフin高知実行委員会
中四国	山口県	11月2日(土)～ 30日(土)	健康フェスタ レントゲン週間	山口県総合保健会館 1階	山口県診療放射線技師会
	鳥取県	10月27日(日)	第9回鳥取ピンクリボンフェスタ	イオンモール鳥取北 1階セントラルコート	鳥取県診療放射線技師会
	島根県	11月3日(日・祝)	2019レントゲン週間・ピンクリボンフェスタ あなたのための医療放射線展	ゆめタウン益田 1階催事場	島根県診療放射線技師会
九州	佐賀県	10月27日(日)	第17回レントゲン週間	アバンセ(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター)	佐賀県放射線技師会、佐賀県健康増進課

## 結核研究奨励賞候補者の推薦について

INFORMATION

公益財団法人結核予防会より、本会へ結核研究奨励賞候補者の推薦依頼がありました。本賞は医療技術関係者の結核に対する関心を高め、結核に関する実践的研究を振興奨励するために設けられております。会員の皆さまの中に該当者がおられましたらご推薦いただきますようお願い致します。

- 該当職種：診療放射線技師、診療エックス線技師
- 対象：結核に関する調査研究で優れた内容を持ち、原則として過去3年以内に学会、研究会、雑誌などに発表されたもの。1つの主題について、何年かに分けて発表されたものをまとめたものでもよい。
- 必要な書類：(1) 履歴書  
(2) ・学会または研究会で発表された研究については、発表原稿(または2,000字程度の抄録)とスライド原図、またはそれに相当するもの1部(コピー可)  
・雑誌に発表された研究については別刷り1部(コピー可)  
(3) 研究内容要約(研究課題名、発表者、所属、学会発表、研究会、雑誌名も含めて400字以内、A4版1枚)
- 締め切り：2019年10月31日(木) 本会へ必着

INFORMATION



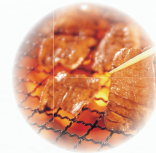
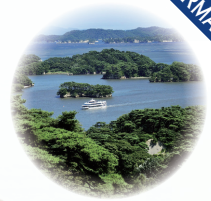
第1回

# 第36回日本診療放射線技師学術大会

## 宮城への道

大会長 立花 茂

(宮城県放射線技師会)



### 大会開催のお知らせ

第36回日本診療放射線技師学術大会を、2020年10月23日(金)から25日(日)までの3日間、宮城県仙台市の仙台国際センターで開催する運びとなりました。大会のメインテーマは「国民と共にチーム医療を推進しよう」、サブテーマは「人と技術をつなぐ令和の未来へ」と致しました。東日本大震災から8年が過ぎ、復旧・復興が進み、震災の記憶が風化しつつある一方、沿岸部の人口流出などの課題が山積しているのが現状です。元号が「平成」から「令和」へと改まり、「アナログからデジタルに」「装置機能の多様化」など、われわれを取り巻く環境も大きく変化する中、過去の技術を見つめ直して継承し、そこへ新しい技術を融合させていく企画などを考えています。

2020年4月1日から医療法施行規則の一部が改正され、管理者が確保すべき安全管理の体制として「医療放射線に係る安全管理」が追加され、医療放射線安全管理責任者の配置や指針の策定、職員研修の実施、医療被ばくの線量管理・記録が求められることとなります。これは、2008年に国連科学委員会（UNSCEAR）から出された報告書の中で、わが国のCTなどの放射線診断機器数ならびに患者1人当たりの放射線診療の検査件数および被ばく線量が、世界各国と比較して高いことが指摘されました。2017年8月3日には、日本学術会議が「CT検査による医療被ばく低減に関する提言」を公表し、医療被ばく低減に向けた今後の方向性が示されました。今回の学術大会で、これらの改正に対する運用や線量の最適化に関する情報提供ができればと考えております。

大会会場である仙台国際センターは、仙台市営地下鉄東西線を利用すると仙台駅から5分で到着します。仙台空港から「仙台空港アクセス線」の快速なら17分で仙台駅に着くため、乗り換え時間を含めなければ、空港から会場まで22分で到着することができます。また伊達政宗が築城した青葉城（仙台城）と広瀬川に挟まれ、青葉城からは仙台市が一望でき、とても風光明媚な所です。

東京オリンピックに負けないおもてなしの心を持って、実行委員一同、企画や準備などを進めております。ぜひ、「第36回日本診療放射線技師学術大会」にご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。

この「宮城への道」では、学術大会にご参加いただいた方々に少しでも多く宮城を堪能いただけるように、仙台周辺だけではなく、宮城全体の「食・モノ・歴史」にスポットを当ててご紹介致します。どうぞお楽しみに。



青葉城（仙台城）址



青葉通り



広瀬川







第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

# 日本診療放射線技師学術大会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう  
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ  
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期  
Date

2020年  
10月23日(金)→25日(日)

会場  
Venue

仙台国際センター

会長  
President

中澤 靖夫 Yasuo Nakazawa  
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長  
Chairman

立花 茂 Shigeru Tachibana  
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

厚生労働省 (予定)  
宮城県 (予定)  
仙台市 (予定)



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL: 022(388)3777 FAX: 022(388)3778

## 「おかげさま」の人生



私の生家は商いをしております。幼い頃の私は、祖母とお店番をするのが楽しく、時間があると小さな店先でリアルお店屋さんごっこを楽しんでいました。当時は365日毎日営業、戦後女手一つで店を切り盛りしてきた働き者の祖母でした。女性活躍推進や働き方改革なんてない時代、賢くしなやかに時代の流れの中で生きた、私の尊敬するビジネスウーマンです。自分の仕事を愛し、仕事時間を楽しんでいる人でした。

そんな祖母のお店を訪れる常連さんや問屋さんが「おはよう」「こんにちは」のあいさつの後に「おぼちゃん元気か?」「どうや?」と問い、祖母が「毎度おおきに、おかげさんで今日もぼちぼちやってます」と返します。典型的な関西の商売人のあいさつです。

この「おかげさんで」は聞きなれた日常のあいさつの言葉でした。しかし、20代の頃、私が悲しくつらい経験をしたときに、祖母とお参りしたお寺のご住職から冥利・冥加のお話をいただきました。冥利・冥加については「役者冥利に尽きる」など、身に余る恩恵を受けて感謝すること。冥は暗いを意味し、暗いから見えない、分からない。自分の分からないところ、気付かないところで、いつの間にか加えられる仏様の加護やご利益。それが冥利・冥加、「おかげさま」というのです。おかげの

かげは暗い陰のこと。自分自身では見えないから陰。自分自身の気付かないところで、さまざまな冥利・冥加をどれほど受けているか分かりません。全てが「おかげさま」です。今、あなたが苦しんでいる思いも、周囲の方々が共にあなたの陰で分かち合おうと見守っておられます。大丈夫ですよ、とお話してくださいました。その時、心がスーッと軽くなった感覚を今でも記憶しています。それ以来「おかげさま」は、大切な言葉として心に刻んでおります。

おかげさまであれから二十数年、予防医学の現場でやりがいのある仕事とすてきな仲間恵まれて毎日笑顔で仕事できています。当センターの健診フロアでは毎日受診者の方から「ありがとうございます」が頂けます。そんな笑顔あふれるすてきな環境で働けることに感謝です。

また感謝を伝える「ありがとう」の言葉の授受は、双方にプラスのエネルギーがチャージされるそうです。私たちの撮影・検査・治療に協力して下さる方々に、共に働く仲間や応援してくれる家族にも、感謝の「ありがとう」の言葉を笑顔で伝えましょう。周りの方と笑顔で話せる境遇に「おかげさま」の心で感謝。自分自身で心のかじ取りができるようになると、しなやかに、心豊かな人生が送れると思いますよ。(文責：吉川典子)

## 10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 医療被ばく低減施設認定取得セミナー： 兵庫 10月20日(日)
- ナイトセミナー (Web同時配信)： 東京 10月21日(月) 愛知 10月21日(月)
- 大阪 10月21日(月)
- 「救急医療学」(実習)講習会： 東京 11月4日(月・振休)
- 画像等手術支援認定講習会： 福岡 11月23日(土・祝)

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt0000004api.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html)

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。